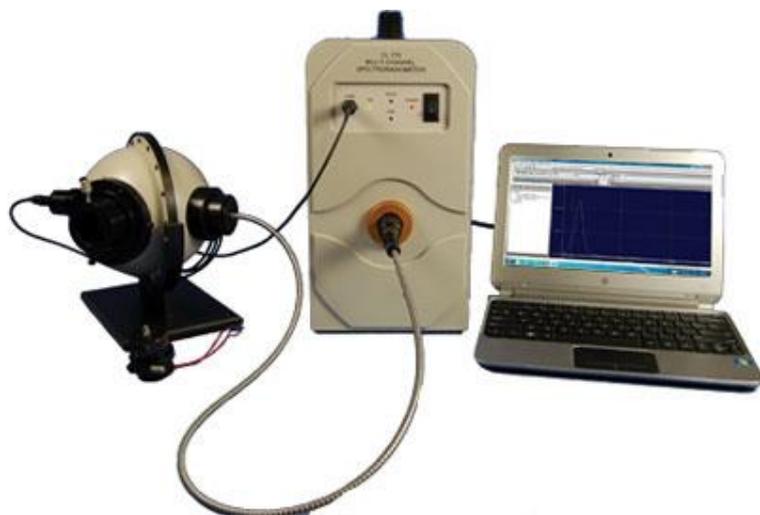


## 近赤外(NIR)分光放射計 OL770-InGaAs



OL770-InGaAs は、850～1700nm の波長範囲をカバーする高速マルチチャンネル分光放射計です。従来の OL770 シリーズ UV/VIS(200～780 nm)および VIS(380～780 nm)、VIS/NIR(380-1100nm)に加えて、近赤外測定に特化したモデルになります。

アプリケーションは、太陽電池シミュレーションや IRED/赤外 LED 測定、ケモメトリックスや大気吸収評価まで多岐にわたります。OL770 製品のモジュラー設計により、InGaAs システムを既存のセットアップに簡単に統合して、追加のアクセサリを調達することなく、さらに広いスペクトル範囲をカバーできます。

OL770-InGaAs は、品質や精度を犠牲にすることなく、高速な測定結果を必要とするお客様向けに設計されました。研究開発の目的で使用するのに十分な測定精度ですが、生産現場で迅速な品質評価を実行するのにも適しています。

制御電子機器、分光器、および検出器は、1 つの頑丈な筐体に収納されています。大型の走査型分光放射計と比較して、軽量で設置面積が小さい設計により、携帯性が必要な環境での使用に理想的な機器になっています。本機には RS-232 と USB の両方のインターフェースが装備されているため、PC ホスト用のプラグインカードは必要ありません。

電源は On/Off スイッチを押すだけですばやくセットアップできます。光ファイバーはユニット前面の入口ポートに差し込まれ、ユーザーはテストモジュールを任意の位置に配置できます。

独自の内部分光器は、収差補正された凹面のフラットフィールド回折格子に基づいており、分光器の精密光学系は、優れた迷光除去性能、高い波長分解能および波長精度を提供します。標準のグレーティングは、0.85～1.7 $\mu$ m の波長範囲で動作します。

交換可能なスリット(標準:100 ミクロン)は、筐体正面の入口ポートに搭載されます。スリットサイズはオプションで選択でき帯域幅を変えることが可能です。

品質・一貫性・連続性を必要とするレンズや光ファイバーの特性評価を検討している場合でも、OL770-InGaAs は絶対に必要な測定器です。

## OL770-InGaAs 仕様

測定波長範囲	200 - 800 nm
ダイナミックレンジ	10 <sup>7</sup>
波長幅(半値幅)	0.4 - 10 nm (交換可能)
測定スピード	200 nm/sec ※クイックスキャンモード-全波長測定 3s
受光部	熱電冷却式S-20 光電子倍增管 (PMT) デテクター
インターフェース	USB
電源	12VDC

## 主な測定アプリケーション

- ・太陽電池シミュレーション
- ・IRED/赤外 LED の測定
- ・ケモメトリックス/分光分析
- ・大気吸収評価

## ソフトウェアの特長



OL756 アプリケーションソフトウェアは非常に柔軟なプロット操作を特徴としており、1つのグラフに最大 10 個の測定データを表示します。

「スキャン非表示」および「スキャンロック」機能で 1 つまたは複数のデータを選択・保護

ユーザー定義の測定設定を保存およびロードする機能、「ワンクリック」測定、自動保存機能

スペクトルプロットズームやドラッグングによるスペクトルデータの高精度表示

キャリブレーションファイルリストは最近使用したファイルを表示することにより検索や選択にかかる時間を節約できます。

正確な色研究のためズーム機能を備えた CIE 色度図、色度上には連続的な測定結果を蓄積できます。

## OL770シリーズ

756	分光放射計本体、ソフトウェア
756-1	分光放射計本体、ソフトウェア IS-670φ15cm積分球
756-2	分光放射計本体、ソフトウェア、 IS-670φ15cm積分球、 標準アダプタ、756-150校正光源
756-150	校正用光源 波長域 250~800nm 5W ハロゲンタンングステン
756-420	ソフトウェア開発キット
756-BAT	バッテリーパック
756-CC	キャリングケース